

大阪・関西万博を見据えた農林水産販売チャンネル拡大推進事業

フードイノベーション課

1 事業の目的

コロナ収束後の交流人口の増加やインバウンドの拡大、大阪・関西万博の開催など、本県への観光誘客の増加が期待される中、関西圏のラグジュアリーホテルにおける「三重県フェア」の開催や食関連業界に影響力が強いトップ人材と連携した BtoB プロモーションなどを実施するとともに、県産農林水産物の生産・流通・販売システムの構築に取り組むことで、県産食材の更なる魅力発信と新たな販売チャンネルの拡大、継続的な販路拡大につなげます。

2 事業の必要性

新型コロナウイルス感染症が 5 類感染症に移行され、旅行者や交流人口が増加していることに加え、2025 年には、大阪・関西万博が開催されることから、特に、関西圏への観光誘客等の増加が期待されます。

このような中、本県に観光客等呼び込み、県産食材の活用を推進するためには、地域に人を呼び込む大きなファクターである「食」を核とした効果的な魅力発信が必要となります。

3 事業の内容

関西圏を訪れる観光客等に「みえの食」の魅力を感じていただくため、ラグジュアリーホテルにおける三重県フェアを開催するとともに、複数のホテル等における自発的かつ継続的なフェア開催につなげるため、老舗料亭や有名ホテルの総料理長など、食関連業界に影響力が強いトップ人材と連携した県産食材のプロモーションを実施します。さらに航空事業者と連携したプロモーションやマルシェの開催に取り組むとともに、県内外のホテルや飲食等の需要にきめ細かに対応する生産・流通・販売システムの構築などにも取り組みます。

4 事業の効果

関西圏をはじめ県内外のホテル・飲食店と連携した県産農林水産物の魅力発信に加え、新たな販売チャンネルの拡大等により、恒常的かつ安定的な生産・流通・販売が確保され、県内の交流人口や来訪・宿泊の増加が期待されます。また、影響力の強い人材との連携により、若手・中堅の料理人やバイヤーに「ささる情報」を発信することが可能となり、単発のフェアにとどまらず、継続的な取引につながることを期待できます。

5 予算

令和 6 年度当初予算

大阪・関西万博を見据えた農林水産物販売チャンネル拡大推進事業